

# 礼拝プログラム

2017年12月17日

司会:川久兄 奏楽:石塚姉 通訳:大倉師

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: \* Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈禱: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

「イエス様と私達の間には壁はない」

There is no wall between us and Jesus.

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝禱: \* Benediction

\* 印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のまままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されません。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー:ラッド姉、大野姉

グリーター:本多姉、コート姉

ナーサリー:テリケス姉、パーク姉

チルドレンチャーチ:川久姉、奏姉

セキュリティー:ウォーカー兄

## 来週、24日の礼拝

司会:町田兄 奏楽:ボウト姉 通訳:石塚兄

メッセージ:「世界のただ中で神の計画は進む」

賛美:新聖歌 79 (メッセージ後)

アッシャー:ラッド姉、大野姉

グリーター:本多姉、コート姉

ナーサリー:町田姉、ストーン姉

チルドレンチャーチ:西井姉、奏姉

セキュリティー:川久兄

## おしらせ

本日の礼拝後の予定  
コーヒアワー、男子会、婦人会、

■今日の礼拝によろこそいらっしやいました。心より歓迎します。また続けておいでください。

■来週はカーター陽子姉の洗礼式、エドワード美春姉の入会式があり、礼拝後に祝会をもちます。皆でこのひと時を喜びましょう！

■今週、水曜日、午後7時よりキャンドルライトサービスがあります。そのために定期的水曜集会、木曜集会はおやすみです。

■12月27日(水)から元旦までイクイパーカンファレンスがあり、私達の教会から三名のユースが参加します。

■12月31日(日)、今年最後の礼拝後に年越しそば・うどんを楽しみましょう！

■来年の新年聖会はニュージャージー日本語キリスト教会牧師の錦織学師をお招きして2018年1月13日(土)、オレンジ郡教会でもたれます(第一聖会:9時ー 第二聖会:10:30ー 第三聖会:13:00ー)。お弁当は10ドルで注文は英子姉まで(1月7日締め切り)。チャイルドケアも用意されます。ライドは各自で調節してみてください。見つからない方は牧師までおたずねください。

■教会では毎月、「教会報」をお送りしています(教会行事等の報告・予告が記載されています)。もし、ご希望される方がおりましたら、セクレタリーの英子姉まで住所をお知らせください。

■公共の場で起きている様々な事件を考慮し、教会では建物の出入りにセキュリティーカメラを設置しました。これらが少しでも防犯につながることを願っています。ご理解とご協力をよろしく願います。

## 今週の予定

20日(水): キャンドルライトサービス 7pmー

## 客不恵

『見よ、彼らが東方で見た星が、彼らより先に進んで、幼な子のいる所まで行き、その上にとどまった』(マタイ2章9節)。

聖書に記録されている博士達をベツレヘムに導いた星について、今日の天文学者は色々な説明をしていますが、その中で有力な説は、それが稀に見る惑星の直列であったのではないかということです。すなわち、20年に一度、木星と土星の軌道が北軸から南軸にそってほぼ平行に並ぶことがあり、紀元前七年の後半には、これが六か月の間に三度、起こり(このようなことは120年に一度と言われているそうです)、そのどれもが古代の占星術師が「ヘブルの家」と呼んだ魚座の中で起きたというのです。

幼子イエスのもとにきた東方の博士はカルデアの占星術師だと言われていますが、最初の惑星直列を紀元前七年の六月に確認して、興味を抱き、それがイスラエルと関わりがある「ヘブルの家」(魚座)で起きたので、この民族に何か異変が起きるかもしれないと考えました。

そして9月27日、再び直列が起こった時、彼らは西方のエルサレムに向かう準備を始め、さらに季節が変わるにつれてこの星はさらに西に移動し、博士達もその星を追いかけるように移動し、12月10日前後に彼らがエルサレムに到着したということとすると、そこで三度目の直列を見たことになり、その時にその星はベツレヘムに向かって南南西の方角であったであろうと言われています。

ナビゲーションも地図もない時代に天地万物の支配者なる神様は予め定められていた天体の法則を用いて、博士達を幼子イエス様のもとへと導かれました。寒い夜となりましたが、そんなことを思いめぐらしながら夜空の星をながめてみませんか。